



Life

生活

【 携帯・通信事情 】

通信回線事情において、日本とミャンマーもそこまで大きくは変わりません。スマホの普及にともない、SNSや動画配信サービスなどのニーズの高まりが追い風となり、インターネット回線も突然の停電さえなければ、ストレスはありません。スマホはSIMフリー携帯が必要で、ミャンマーでも簡単に手に入れることができます。ローカルで人気なのは15万Ks~30万Ksの価格帯で、大型のショッピングモールではiPhoneも購入可能(正規販売店もあります)。SIMカードは空港でも購入でき、ショッピングモールでは各社比較しながら選ぶことができます。

SIMカード会社(通信会社)

MPT

KDDIと住友商事及びミャンマー国営電気通信事業体と共同で行う通信事業。通常の4G回線より最大で倍速が可能な「LTE+」サービスを提供。

ooredoo

カタールの政府系企業。サウジアラビアやチュニジアなどのイスラム諸国を中心に展開し途上国での実勢も多数。赤く際立ったロゴが目印。

telenor

ノルウェーの政府系企業。ミャンマーの通信事業者で第2位のユーザー数を持つ。独自のライフスタイルアプリを開発するなか、モバイルマネーにも着手しスマホを使った送金システム「Wave Money」が導入。北欧らしい白色の看板がイメージカラー。

Mytel

ベトナムのベトナムと国内企業2社が立ち上げたミャンマーにおける第4の通信オペレーター。市場シェア獲得のため低価格で追いつけている。

インターネット回線のみ提供

携帯電話の回線を扱わず、インターネットのみ提供する通信会社。通常、日本人が多く住むアパートにはあらかじめWiFiが用意されていますが、自身で用意しなければならぬケースもありますので、下記を参照してください。

ananda

回線速度は問題ないので、使いたいエリアで対応できるか確認したい。

Myanmar net

手頃な価格で高速かつ信頼性の高い固定ブロードバンドサービス。家庭や企業で無制限に使用されている。



【 浄水器 】

入居前にアパート全体で水をどのように浄水しているか管理人に確認し、必要に応じて個人でも高機能浄水器を設置してください。日本で家庭用に市販されている浄水器は、あくまで日本の水を浄水するために開発されたものなので、場合によってはフィルターがすぐ目詰まりしてしまいます。料理に使う水は、飲料水にしているペットボトルやウォータータンクに入った水を使うのが安心です。浄水器は、ホームセンターのPRO1で扱っています。また、日本人向けに取り扱う会社もあります。



Mirai Holding Co.,LTD Shwe General Service Group

TEL 09261901099 (山本良夫)

<https://www.sgs-gr.com/pages/2198675/ro>

【 変圧器 】

ミャンマーの電圧は、220V~240Vです。日本の電気製品を使う場合、変圧器が必要になります。変圧器は、日本で購入していくのが確実ですが、帰任者に譲ってもらうケースも。PCや携帯電話、カメラの場合、海外でも使用できるもののコンセントの形状が異なります。日本のコンセントの形状はAタイプでミャンマーのコンセントはB、BF型と言われていますが、その形状は様々です。変換プラグは、変圧器よりも手に入りやすくスーパーマーケットなどでも手に入ります。

【 お手伝いさん 】

特に派遣会社があるわけではないので、自力で探すのが一般的です。お掃除、料理人、ベビーシッターなど様々です。前任や知り合いから紹介してもらったり、お手伝いさんからその仲間に聞いてもらうパターンがほとんどですが、サービスアパートメントによってはレセプションでお願いすることもできます。ただ、あくまでも好意で紹介してもらうので、何かあった時の保証はありません。

【 銀行 】

個人口座は、地場銀行のみで開設可能です。開設する場合、パスポート、口座開設手数料、銀行によってはビザの書類、写真を求められます。ただ、預金はミャンマー国内でしか引き出しができません。口座開設の通貨は、USDかMMKかを選びます。MMKしか扱わない支店もあるのでご確認ください。法人の場合は、パスポートの原本とコピー、銀行宛レター(口座開設依頼)、議事録(口座開設の合意)、設立証明書(事業認可証)、Myco(登記情報)の株主一覧ページ・役員一覧ページ、定款、会社の印鑑、代表者の印鑑もしくは署名、各種手数料が必要となります。銀行、支店、担当者ごとに必要書類の案内内容が変わる可能性もあります。なにかと手続変更の多い国なので、時間の無駄にならないよう事前に確認してから銀行に行くことをおすすめします。

